



菅生学園報

第14号 2024年 新年号



理事長メッセージ

＝国際交流の推進、そして、平和な社会を！＝



理事長
島田 幸成



2024年がスタートしました。関係の皆様には昨年は大変お世話になり心より御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。年が明けて能登半島地震、そして羽田空港での飛行機衝突事故が発生しました。亡くなった方々のご冥福と被災者の方々へ心よりのお見舞いを申し上げます。学園として必要な被災地への支援そして、災害や事故を防ぐ取り組みを行ってまいります。

さて、昨年はコロナ禍も落ち着き、通常の活動が戻ってきました。菅生学園では、菅生祭、体育祭などの行事やクラブ活動など学園内外でも課外活動が盛んですが、そのなかでも国際交流活動は学園が推進している活動の一つです。昨年夏には高等部中等部の生徒がオーストラリア姉妹高校のパーカーカレッジを訪れ、短期留学が再開されました。私もその様子を視察すべく、現地に赴きましたが大変有意義なものでした。

また、12月にはパーカーカレッジ吹奏楽団が来日。東京、広島、大阪をはじめ、日本各地で演奏会が開催されました。楽団は菅生学園も来校。高校吹奏楽部を中心に交流が行われました。また、初等中等においても、横浜基地アメリカンスクールとの交流が再開されました。中等部ソフトボールチームは台湾から招待され、交流試合に臨みました。学園と智常務は中国への教育視察へ赴きました。こうした交流を通じて深められた友好関係は、これからを担う若者、学園にとって貴重なものとなりました。

昨年はWBCや大リーグで大谷選手をはじめ日本人選手の活躍がありました。また、バスケットやバレー、ラグビーなどの世界大会においても日本選手が活躍し、世界の人々からも多くの称賛を得ています。そして、本年は平和の祭典オリンピック・パラリンピックがパリで開催されます。スポーツを通じて世界が一つになることを希望します。一方で、ウクライナやパレスチナでの戦争が続いています。戦地では多くの方々食べるものもなく、寒い冬を越しています。毎日、メディアを通じて流れる戦禍の悲惨な光景を目にし、爆発音、銃声を耳にする度に恐ろしく、悲しい気持ちになります。世界の多くの方々が、一刻も早く戦争が終わり、平和な世界に戻ってほしいと願っています。

菅生学園では、平和な国際社会の実現、グローバル化に対応するための人材育成のために、海外の学校、団体との文化スポーツ交流、ターム留学、短期留学を実施しています。今後もそうした活動を推進するとともに、本年こそは、世界各地で起こっている、紛争や戦争が一刻も早く終結し、平和な社会に戻ることを心より願っています。



12/19～25 中等部ソフトボール部は台湾遠征に行ってきた。現地の中高生と連日試合を行い、言葉の違いを超えてのびのびと交流する姿が見られました。

菅生のあゆみ



副理事長
島田 洋子

2024年もどうぞよろしくお願いいたします。

私は毎週いろいろな用事のために、電車に乗ることが多く、学生や若い方々に接することが多いのですが、最近若い方々の行動がいくらか変わってきたように感じます。車中では高齢者に席を譲ったり、荷物を持って階段を降りる人の手伝いをする若い人の姿などに気づきます。また、早朝の喫茶店などでは一生懸命に勉強し、時間を大切に学んでいる学生の姿が見受けられます。

ところで、私はほとんど毎日バスで菅生学園まで通っていますが、バス通学の方々の学校帰りの姿はとても明るく感じられます。友だちや良き先生方と一緒に、これからの毎日充実した日々でありますように、そして心豊かに成長できますことを、見守ってくださるご両親、菅生学園を支援してくださっている多くの方々とともに願っています。

(1) 永年勤続表彰

今年は菅生高校英語科の河村武俊生が永年勤続(30年)で表彰されました。理事長室において表彰式が行われ、理事長から表彰状、記念品が贈られました。河村先生に感想や学園での思い出についてうかがいました。

①表彰にあたっての感想と菅生学園の思い出

他校での勤務やイギリス留学(英語教授法)を経て、菅生学園に勤務するようになりました。中部で3年間教えたほかは、菅生高校で英語科教員をしてきました。あっという間の30年でした。

学園での一番の思い出は、バドミントン部の指導をしたことです。当時、バドミントン部は全国私学大会に1度、関東大会に2度出場し、東京都大会では団体で3位にもなりました。秋川や福生、五日市の体育館でも練習したり、毎年千葉で10日間の夏合宿を行ったりしていたのがよい思い出です。以前高校にあった福祉科の担当していたこともあり、ルーテル大学でのサマーセミナーやあきる野養護学校でのボランティア、盲導犬セミナーに生徒ともに参加したり、点字の勉強や手話検定を取得したりしたことも私の大切な思い出です。中部英語科では副島先生と朝のワンポイントレッスン、英検直前には、一日中休憩時間に英検の面接練習を行っていたことも印象に残っています。



②菅生学園の良さ

先生がいきいきとしていて大変面倒見がいいところ、そして先生と生徒の距離が近いところです。どの先生も、生徒一人ひとりの希望進路を実現すべく、小論文や面接など一生懸命手厚く指導しています。

③菅生学園の児童・生徒に望むこと

明るく元気で、勉強もそれ以外のことにもがんばる、パワーのある生徒たちだと思います。高校生は英語教育の成果で、しっかりと英語以後が聞き取れるようになった生徒が増えています。すららネットやモノクサなどを活用して、毎日英語に触れている成果だと思います。

児童・生徒たちにはリーダーとして自分で発信していけるような子どもたち、主体性や勇気を持って世界に一步踏み出せるような子どもたちになってほしいと思います。そのために、開けた心で接すること、できれば日本を知って、英語を使って日本を知らしめてほしいと思います。これらはグローバル化に必要なことです。

④菅生学園の今後に望むこと

生徒たちが、部活動だけではなく外部の検定や資格試験などにも果敢にチャレンジしていける学校になってほしいと思います。新しいコース制においてそれぞれのコースの生徒が自分で輝くことができる場所であってほしいと思います。また、卒業生も輝けるようになってほしいと思います。

(2) 菅生高校吹奏楽部 全国大会金賞

皆様には、日頃より当吹奏楽部に対し多大なるご支援を賜り関係者一同お礼申し上げます。全日本吹奏楽コンクール5大会連続金賞受賞の快挙は部員の絶え間ない努力はもちろんのことですが、ご理解をいただいている保護者、学校関係者の皆様方のおかげです。この賞に満足することなく、音楽を奏でる喜びと聴衆からいただく大きな拍手のために今後も精進して参ります。変わらぬご支援をお願いいたします。

菅生高校 吹奏楽部顧問 加島貞夫

全日本吹奏楽コンクール 2023年10月22日(日) 於：名古屋国際会議場(愛知県)

課題曲：レトロ 自由曲：ドラゴンの年より(2017年版)



※ 2024年1月に開催された第9回東京都新人大会で菅生高校吹奏楽部は金賞を受賞し、3月の首都圏大会への出場権を獲得。伝統はしっかりと引き継がれています。

学園トピック

(3) バーカーカレッジとの国際交流

菅生高校の提携校であるバーカー・カレッジ(オーストラリア)との交流が今年度再開しました。

◇英語研修再開

夏には7/21～8/5 高校生7名、中部部生2名がカレッジでの英語研修を受けました。現地では、カレッジの生徒宅にホームステイして学校に通い様々な経験をしました。最初は緊張していた生徒たちも、別れ際には涙を流す姿が多数見受けられました。帰国後の8月25日に報告会が行われ、すべて英語でプレゼンテーションを行い、感じたことや得たことを発表しました。堂々と自信にあふれた生徒たちの様子に、実り多い研修での成長を感じました。



◇Wind Band来校

冬にはバーカーカレッジのWind Bandの生徒・先生60人が来校しました。今回、Wind Bandは埼玉・神奈川・東京・広島・岡山・大阪・京都で計8回のコンサートを行いました。12/12に「学びの城」での歓迎セレモニー後、菅生高校の生徒と一緒に6階カフェテリアで昼食を取りました。その後、高校に移動して様々なアクティビティに参加しました。放課後には、吹奏楽部との交流会が行われ、合同練習を行いました。



Barker College

1890年に創立されたシドニー郊外にある私立学校。当初は男子校として設立され、現在は Junior School (Pre—K, year1—6)、Middle School (year7—9)、Senior School (year10—12) の共学一貫校となっています。東京都の私立学校教員海外研修団の視察先にも選ばれる名門校です。菅生学園では菅生高校・中部部が1990年から提携し、交流を図るとともに、生徒の留学先となっています。



Barker College HPより

(4) 合唱de歓喜 「第九」 コンサート



菅生高校合唱部と菅生学園初等学校すがめき合唱団が参加する「合唱de歓喜『第九』」コンサートが、12月23日に秋川きららホールで開催されました。指揮は高校で音楽の教鞭をとる村越大春先生。2台のピアノ演奏によるリスト編曲「第九」を、今年も菅生の児童・生徒がドイツ語で力いっぱい歌いました。

年末の第九演奏会はすがめき合唱団にとっても恒例行事となってきました。今年は行事と重なったこともあり、5、6年生のみの参加となりましたが、1部はプロのソリストの歌声を間近で聞き圧倒され、第九では高校合唱部や地域の合唱団の迫力ある声を背中に受けてとても気持ちよく歌えたようです。

歌い終えた子ども達は「舞台上上がるまでは緊張したけど、あつという間だった」「あんなふうに（ソリストのように）歌えるようになりたい」等それぞれとても思い出に残る演奏会だったようです。いつも、初等学校児童を暖かく迎え入れてくださる村越先生はじめ合唱de歓喜合唱団の皆様には心より感謝申し上げます。

初等学校 すがめき合唱団 下野祐輔



菅生学園初等学校・菅生高校中等部

校長メッセージ



布村 浩二校長

＝非認知能力と認知能力との二刀流で人間力を磨く＝

旧年中はさまざまなところでたいへんお世話になりました。感謝申し上げます。
新年早々、能登半島地震に日航機事故と大きな災害や事故が起こり、不安な年明けとなりました。被災された方々にはお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。さて、人工知能の進化は想像を超えて早く、見る・聞く・話す・書くについては既に人間を凌駕しています。そのような環境下で今後子どもたちはAIと共生していかなければなりません。そのため、この小学生中学生の間にどのような力を培っておくべきなのでしょう。
先日、最先端のAIの研究をされている東大の教授に直接伺いました。先生曰く「AI（デジタル）に触れて、人がやるべきことに気づく。一方で人間力も並行して培っていくべき」とのこと。児童や生徒の頃からデジタルに長ける環境を用意することと、非認知能力を主として認知能力との二刀流で人間力を磨くこと、の両輪が必要です。今年からはこれらを新たな教育理念としてまいります。

菅生学園初等学校

トピック

【全校遠足（縦割りウォーキング）再開】 11月15日（水）3年ぶりの全校遠足（縦割りウォーキング）を実施しました。行き先は青梅市の御岳山です。標高900メートルを超える御岳山では、一足早い紅葉が楽しめました。ケーブルカーで御岳山駅まで一気に登り、長尾平でお弁当タイム。その後、縦割り班ごとにロックガーデン・綾広の滝などをめぐり、とても気持ちの良い1日でした。

【マラソン大会】 11月25日（土）に恒例のマラソン大会が行われました。今年は初めて学校を飛び出し、あきる野市内にある都立秋留台公園陸上競技場で行われました。学校と違い、何より平坦で安全なコースです。また、レースの全てを他の学年の児童や保護者が観戦でき、大きな声援に後押しされて走りきることができました。お天気にも恵まれ、よい思い出がまた一つ出来ました。

3年ぶりの全校遠足



好天に恵まれたマラソン大会



活動報告

9 / 1 始業式・避難訓練・引き渡し訓練
9 / 9 入試にチャレンジ
9 / 13 TGG英語体験（5・6年生 青海）
校長先生にきいてみよう月間
9 / 16 授業参観
9 / 30 菅生祭
10 / 1 菅生祭
10 / 6～ 6年生三者面談
10 / 10 TGG英語体験（3・4年生 立川）

10 / 31 ハロウィーンディ
11 / 1 第1回入学試験
11 / 5 第2回入学試験
11 / 10 6年生漢字検定
11 / 15 全校遠足（御岳山）
11 / 25 マラソン大会
12 / 6～ 個人面談週間
12 / 15 終業式
12 / 21～23 スノースクール（婦恋）

活動予定

1 / 9 始業式
1 / 10 身体測定
1 / 11 書初め大会
1 / 13 もちつき大会
1 / 19 英語検定
1 / 20 オープンスクール・給食試食会
1 / 23 第3回避難訓練
1 / 26 漢字検定

2 / 9 東初協一斉研修会
2 / 10 入学児保護者会
2 / 16 劇と音楽の会（ゆとろぎホール）
2 / 26～3 / 1 授業参観日（保護者会）
3 / 6～12 個人面談
3 / 9 お別れ遠足（新江ノ島水族館）
3 / 16 卒業式
3 / 18 修了式

トピック

冬休み直前の風物詩となった中部部音楽祭が無事に実施されました。生徒にとってはいい経験となるのはもちろんですが、クラス担任としても一入安堵する時です。授業、クラブ、成績処理をこなすことに加え、放課後に行う合唱練習指導も入ってくるのですから、普段以上にパワーも自ずと必要となります。また、練習の初期にありがちなクラス内での不和対応や、日ごとに募る伴奏者の不安を払拭させることも大事な任務です。更に、体調不良者多数のために音楽祭を延期した過去もあったため、その日を迎えるまで、とても気が気でありませんでした。

1週間前のリハーサルでは、ハーモニーや声量などで不安が増大してしまいますが、生徒にとっては他のクラスの歌を聴いたり、自クラスの動画を視聴したり、他者からアドバイスをもらったりすることで、何が足りないのかを客観視するいい機会になったと思います。

そんな悲喜こもごもあった過程を察しながら見聴きすることで、教員と生徒でつくり上げる素晴らしい行事だとあらためて実感しました。

素晴らしいハーモニーが響き渡りました



活動報告

9 / 4 ~ 8	北海道修学旅行（3年生）	10 / 25	生徒会役員選挙
9 / 26	校内主張大会	11 / 8	夢育て講座
9 / 28	学期更新式	11 / 28	生徒総会
9 / 30・10 / 1	菅生祭	11 / 29	警察講話（2・3年生）
10 / 13	開校記念式典	11 / 30・12 / 1	後学期中間試験B
10 / 14	東海大学訪問（2年生）	12 / 15	音楽祭
10 / 17・18	後学期中間試験A	12 / 16	全校集会
10 / 20	郷土学習（2年生）		

活動予定

1 / 6	新年式	2 / 1	第1回入試	3 / 1	地域清掃
	学校説明会	2 / 2	第2回入試	3 / 5	野鳥観察
1 / 10	GTEC	2 / 4	第3回入試		卒業遠足
1 / 13	授業公開	2 / 6	第4回入試	3 / 15	卒業式
1 / 19	英語検定	2 / 7	外部試験	3 / 18	修了式
1 / 25	文章力検定	2 / 11	入学準備説明会	3 / 26	新入生招集日
		2 / 20 ~ 22	学年末試験		

菅生高等学校

校長メッセージ



峰岸 英仁校長

= 成功の芽の成長 =

あけましておめでとうございます。今年も、よろしくお願いします。2020年から2023年の5月まで、私たちは新型コロナウイルスのために様々な制約を受けてきましたが、ようやく精神的にも、その呪縛から解放されてきました。2024年の干支は、甲辰（きのえ・たつです。「甲」は1で優勢であること、「辰」は龍を意味し、大自然の躍動を表し、めでたいことが起こる象徴で、甲と辰の組み合わせは「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさも表しているそうです。ひとつ前の甲辰は1964年で、その年には東京オリンピック、東海道新幹線開業など、日本の高度成長を象徴する年になっています。

今年は、私たちにとりましては、いよいよ、特進が特進PBLとして刷新されスタートします。また、6年一貫教育の医学難関大コースの1期生が高校生になります。まさに、甲辰の示す通りの年になることを期待するとともに、そのように努力を積み重ねていきたいと思います。

トピック

生徒会によるイルミネーション設置

先日、イルミネーションの飾り付けが完了しました。例年は体育館前の通り道だけの飾り付けですが、本年度は生徒会役員より「生徒の思い出に残るイルミネーションを実現し、東海大菅生高校に通うことが楽しくなってほしい」という申し出があり、関係各所に確認したうえで飾り付けを行いました。また、平和ホールにはクリスマスツリーの設置と飾り付けを行いました。クリスマスツリーの横には「サンタさんへのメッセージコーナー」も設置しました。こちらも、「東海大菅生高校での生活が楽しくなってほしい」という生徒会役員の提案で実施したものです。

バーカーカレッジWind Band来校

12月12日に本校の提携校であるオーストラリアの名門校バーカーカレッジのWind Bandが来校しました。屋前に「学びの城」に到着したWind Bandのメンバーはセレモニーを行ったあと、カフェテリアで昼食をとりました。自己紹介では、空手の型を実演してくれた本校生徒もいました。その後、本校舎に移動し、野外ステージではダンス部が演技を披露して出迎えました。その後、本校舎でのセレモニーとガイダンスを行い、剣道・書道・カルメ焼きの3つのアクティビティに分かれて体験しながら本校生徒との交流を深めました。放課後には、吹奏楽部との交流会が行われました。パートごとにプレゼントを交換していました。それぞれが良い経験となり、充実した一日になったと思います。

「楽しい高校生活を！」 との願いを込めて



実り多い2日間の交流と なりました



活動報告

9 / 27	体育祭	10 / 23 ~ 26	定期試験C
9 / 30・10 / 1	菅生祭	11 / 28 ~ 12 / 2	2年生沖縄修学旅行
10 / 13	開校記念式典	12 / 18 ~ 21	定期試験D

活動予定

1 / 6	新年式	2 / 11	第二回一般入試	3 / 7	卒業式
1 / 22	推薦入試	2 / 15	第三回一般入試	3 / 18	修了式
2 / 10	第一回一般入試	2 / 27 ~ 3 / 1	学年末試験		

菅生 STEAMチャレンジ (8)

STEAM教育 ⇒S(Science 科学)、T(Technology 技術)、E(Engineering 工学)、A(Art 芸術)、M(Mathematics 数学)

このコラムでは、菅生学園が取り組む様々な特徴あるSTEAM教育をご紹介します。

今回は菅生高校で情報の授業を担当している佐渡先生に「情報」の授業についてお話をうかがいました。

主体的に学び、将来に続く情報科教育

【情報Ⅰについて】 新学習指導要領で情報Ⅰがスタートし、菅生高校では2024年から3年生が新課程で学ぶことになっています。2025年からは大学共通テストで情報Ⅰが入試科目となりますが、これについては個別対応や講座開設を予定し、受験する生徒への指導を行います。

【授業】 菅生高校オリジナルのプリントをベースに、Excelやプログラミングを中心に授業を行っています。その理由は、Excelは大学での学び、社会人になってから仕事で多用するものであり、今後多に役に立つものだからです。Excelでできることはかなり多種多様ですが、変わったことをやるには自分で調べることが必要です。自分で調べてやってみて、間違えることもプラスになります。むしろ失敗したことの方がおぼえやすい。命がかかわること以外は間違えていいんだということを伝え、チャレンジ精神につながるようにしています。

プログラミングは、目的・目標を立てて、プログラミングで結果を出すものであり、論理的思考の育成につながっています。プログラミングでは、ロボットなどのキットは使用せず、アルゴリズムやフローチャートについて学んでいます。今年前期は関数を使ったデータ解析も行いました。生徒一人ひとり理解や習熟の進度が異なるため、進度の早い生徒は先の段階に進めるよう応用問題も用意して、プラスしてできることにに対して評価しています。一方で、質問になかなか来られない生徒もいます。そんな生徒には時々声をかけながら様子を見て、必要に応じて個別指導を行っています。

情報の授業では「大学の学びの準備をしよう」と呼びかけています。具体的には、授業プリントに載っていないけれども重要なことも話し、これらについてしっかりとメモを取って要点をまとめるなど、大学での学び方に備え、主体的に学べるように心がけて指導しています。社会において、自分の知識・教科書だけではできないことが多いのがITです。変化が大きく、そのスピードも速い分野です。ですからプリントは考える、調べる余地を作り、主体的に学ぶようにしています。わからなければ調べた上で聞きにきてほしいと思います。他人のものを写すことは勉強ではないし、自分の力にもならない。さらには、自分の「考える自由」を手放すことにもなります。また、授業では学びあいも大切にしています。他の生徒に教える側に立つ生徒には「考えさせるように教えてあげてほしい」と伝えています。こうした取り組みによって、「これはどういうこと？」と聞きにくい生徒が増えています。こうした成長を見守っていく指導によって、生徒は自分で考えて動けるようになっていきます。クラスによっては、わかる生徒が先生となって解説を行う「塾」も開かれています。

情報リテラシーとしては、誰がいつ、どこで発信したものを確認し、情報の信頼性を見極めることが大事です。情報技術によって便利になった分、それによって悪いこともできるということを事例をあげて話し、信頼性を判断することの大切さも教えています。



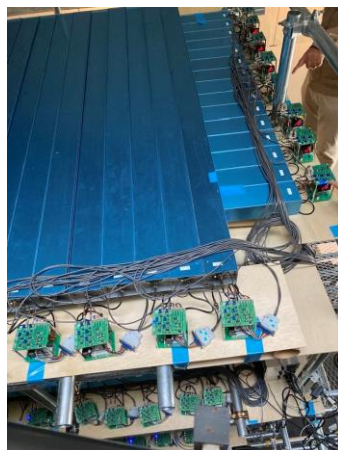
学校情報科優良校に認定されるなど、充実した情報科の学習のための基盤もしっかりと整えられています。

菅生のひとこま (8)

「菅生のひとこま」では菅生学園のさまざまな場所をご紹介します。今回は学びの城に開設された「muPS検証実験サイト」です。

2023年秋、学びの城地下1,2階に「muPS検証実験サイト」が開設されました。muPSとはGPSが使用できない地下空間等におけるナビゲーション技術です。この開発プロジェクトは、東京大学国際ミュオグラフィー連携研究機構長の田中宏幸教授が中心となり、東京大学生産技術研究所、NEC、(株)テクノランドコーポレーションのほか、海外大学が参画しています。プロジェクトでは、muPSを利用して実際にナビゲーションの動作確認を行うことができる施設を探していました。学園とご縁のある(株)テクノランドコーポレーション代表取締役清水孝志さんが学びの城の地下に注目され、設置を依頼。学園では社会課題解決につながる研究のお役に立てばと地下1,2階フロアを提供することとしました。このナビシステムを学園の学習に使用することも可能とのことで、さらに先進的な学習機会につながるものと期待されています。

このmuPS検証実験サイトと実証実験に関しては、あらためて広報紙で詳しくご紹介する予定です。



父母会メッセージ

菅生学園初等学校



菅生学園初等学校
父母の会
土橋 公洋会長

新年明けましておめでとうございます。

初等学校は2007年に開校し、今年度で17年目となります。その間、菅生学園の中
高各校には多大なるご協力を賜りましたことにまずは厚く御礼申し上げます。これ
まで父母の会の活動を支援していただきました学園、教職員、歴代役員の皆様にこの
場をお借りして御礼申し上げます。

さて、ここ数年会員数も増え、父母の会の活動は大変活発になってまいりました。
5月の運動会は完全通常開催となり、受付や駐車場の整理・誘導、子ども達の水分
補給等でお手伝いさせていただきました。また、マラソン大会は初めて都立秋留台
公園陸上競技場での実施となりました。安心安全な環境で、なおかつ保護者も大変
観戦しやすい状況でした。行事が年を経るごとにブラッシュアップされていくの
には、保護者としても大変うれしく存じます。例年の餅つき大会も1月に予定されて
おります。子どもたちの思い出づくりの一助となれば幸いです。活動内容は今後と
も広報誌「えがおのすがお」で年5回のペースでお知らせいたします。

これからも学校法人菅生学園の一員として、その一翼を担っていけるよう学園の
事業に奉仕してまいります。旧倍のご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげ、
新年のご挨拶とさせていただきます。

菅生高等学校・中等部



菅生高等学校・中等部
父母の会
峰村眞美

皆様方におかれましては、希望に輝く新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上
げます。平素は父母の会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年5月には数年来猛威を振るってりました新型コロナウイルスが5類へ変更さ
れ、予断は許さぬも様々な活動が以前のように戻りつつあります。父母の会におき
ましても、子供たちの笑顔のために学園の行事活動にお力添えをさせていただき、
体育祭では給水支援や手洗い・手指消毒の推奨を行い、感染防止の強化を行いまし
た。菅生祭ではミマス氏をお招きし、楽しいトークや合唱部とのコラボで素敵な歌
をご披露いただきました。また新鮮な野菜やお米の販売、ゲームなど来場者の方々
に楽しんでいただける多くの企画を開催しました。

本年も子供たちの学園生活が安心・安全に過ごせるよう、更に学園と協力しなが
らご支援してまいります。

結びに本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心よりお祈り申し上
げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

同窓会



川蟬会会長
渡邊 弘行会長

学園関係者の皆様におかれましては新年をご健勝でお迎えのこととお慶び申し上
げます。

元日より能登半島を襲った地震と津波の影響により多くの大切な命が奪われまし
た。謹んでご冥福をお祈りするとともに現在も不自由な避難生活を送られている
方々には心よりお見舞いを申し上げます。

さて、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症において、感染法上の位置付け
が、季節性インフルエンザと同等の5類感染症になったことにより、世間も旅行や
イベントも楽しめるようになりました。菅生川蟬会も世間同様に計画していた活動
やイベント事がごとく中止となり、総会も開催できない状態でありました。活
動できなかった期間では、在校生の部活動の活躍に励まされ、男子バレー部の全日
本バレーボール高等学校選手権大会(春の高校バレー)、テニス部の全国選抜高校テ
ニス選手権大会、硬式野球部の選抜高等学校野球大会において東海大菅生の名を世
に轟かせてくれました。卒業生も在校生の活躍が楽しみであり、菅生川蟬会会則に
則り報奨金を出させていただきました。また、「菅生川蟬会会報」の製作もできな
かったことから、西多摩地区の政治・経済・町のトピックスを掲載、ネット配信し
ているニュースサイト【東京25ジャーナル】(タブロイド判PDF)に依頼して、
「菅生川蟬会同窓会かわら版」を2022年3月よりスタートさせ、菅生川蟬会として
社会で頑張る卒業生の現在の活躍や人物紹介また、在校生の部活での活躍などを紹
介する特集を組んで、卒業生同志の繋がりや世代間の交流ができるよう配信してお
ります。是非、検索して頂きたいと思います。

今後も卒業生の活躍、在校生の頑張りを応援してまいります。

編集後記



明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。2023年は、様々な活動がコロナ禍前同様に行
えるようになり、一段と児童・生徒の笑顔が溢れる年となりました。オーストラリア・パーカーカレッジとの交流をはじめ、
中等部ソフトボール部の台湾遠征という国際交流の機会もありました。新しい年もさらに児童・生徒が笑顔でのびのびと可能
性を伸ばしていけるよう、学園関係者全員力を合わせていきましょう。

2024年1月 編集・発行 菅生学園法人本部 ご意見・ご質問はこちらへ 編集担当：高橋 真実